



市長に受賞の喜びを報告する  
加茂谷さん(右)と蛇川さん

# 発明くふう展

加茂谷さん 恩賜記念賞

蛇川さん WIPO賞

先月東京都で開催された第52回全日本学生児童発明くふう展で、大館少年少女発明クラブに所属する加茂谷紗織さん(有浦小2年)が恩賜記念賞に、また同クラブの蛇川鐘子さん(上川沿小2年)がWIPO賞に選ばれ、大館にとって明るい話題が相次ぎました。2人は、3月31日に市役所を訪れ、小畑市長に受賞の喜びを報告しました。

## 大館市では初めて

### 恩賜記念賞

今回、全国六百四十七作品の頂点に立つ恩賜記念賞を受賞した加茂谷さんの作品は「地しんとつなみ」。

昨年の北海道南西沖地震で大きな被害を受けた奥尻島の惨状に驚いて、津波が発生する仕組みを詳しく調べて模型にすることを思いついたということです。海水に見立てたたぐさんの小さな玉が、津波となって模型の海岸に置いた家やビルへ押し寄せる様子を分かりやすく表現したものです。

加茂谷さんが津波から受けたショックが伝わってくると同時に、見る人にも津波の恐ろしさを訴えるような作品になっています。

全国展での恩賜記念賞受賞者は県内では二人目、大館市では初めての快挙です。また今回、恩賜記念賞受賞者が在籍する学校として有浦小学校も学校表彰を受けました。受賞は、子供たちに新たなひらめきを生むきっかけを与えるかもしれませんね。工作が好きという加茂谷さん、実は昨年の全国展でも初出品で特別賞に輝いています。これからもまた良い作品を作るよう、ぜひ頑張ってもらいたいと思います。

一方、今回特別賞(WIPO賞)に輝いた蛇川さんの作品は「星座物語」。円筒と、周囲に取り付けた回転板で構成された作品です。円筒の中には豆電球と鏡が仕込まれ、回転板に描かれた各星座にまつわる物語の絵と組み合わせることによって、十二種類の星座を再現するもの。

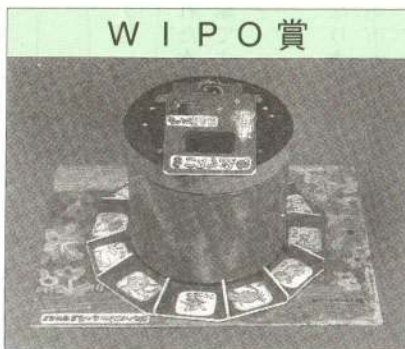
昔、人々が星空を眺めて語った物語を想像しながら、星座や星の並び方を覚えられればと考えたのだそうです。

まるで小さなプラネタリウムのような、幻想的な作品です。

### 県初のWIPO賞

特別賞は恩賜記念賞に次ぐ賞として今回十四作品に与えられました。中でも、蛇川さんが受賞したWIPO賞は、国連専門機関である「世界的所有権機関(WIPO)」から与えられた、いわば国際的な意味のある賞です。県内では初の受賞となりました。

今回の全国展では、加茂谷さんと蛇川さんの作品のほかにも、大館市から奨励賞に二点、入選に四点が選ばれ、これまでにない優秀な成績が収められました。科学的好奇心の減退が憂慮されている今、発明・工夫という分野で好成绩が表れたことはとても喜ばしいことです。皆さん本当におめでとう。

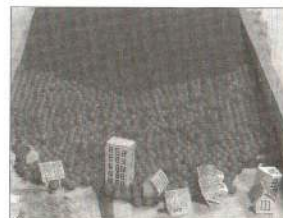


WIPO賞

### 『星座物語』

(蛇川鐘子さん)

津波が押し寄せる様子がリアルに表現されている



恩賜記念賞

### 『地しんとつなみ』

(加茂谷紗織さん)

